



●母子健康手帳の交付

保健師が、妊婦さんの体調などを聞きながら母子健康手帳の使い方や妊婦健康診査について説明を行います
 と き 平日、午前8時30分～午後5時 と ころ 健康づくり推進課(西合志庁舎)
 ※健康育児相談でも交付しています。日時などは39ページのお知らせカレンダー、健康づくり事業計画表をご覧ください。
 持参する物 印かん、医療機関から発行された妊娠届出書

●熊本県小児救急電話相談事業

相談時間 毎日・夜間 午後7時から午前0時
 ☎#8000
 (ただし、ダイヤル回線・IP電話・光電話からは☎364-9999)

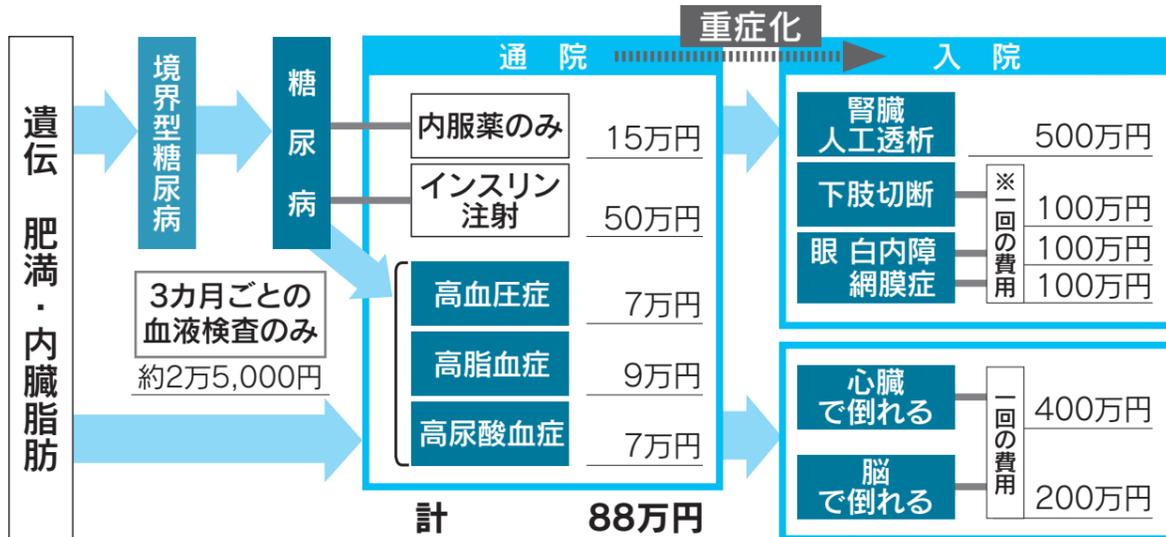


健康のすすめ

問い合わせ先 健康づくり推進課(西合志庁舎) ☎242-1183

糖尿病になったら医療費はどれくらいかかるのか？

一年でかかる医療費です。(注)金額は、症状・治療法などにより個人差があります。



※手術のみの費用
 下肢切断(ひざ下) 14万4,000円 白内障 12万1,000円 網膜症 11万2,000円
 入院費、リハビリの費用、装具など別途必要になります。

Aさん(75歳)の場合 → 平均的に糖尿病は、一生で1億円の医療費がかかると言われます

年齢	50歳	55歳	60歳	65歳	70歳	(75歳)つづく
病気の経過	糖尿病(内服のみ) 15万円 × 25年 → 375万円					
	高血圧症 7万円 × 20年 → 140万円					
	高脂血症 9万円 × 15年 → 135万円					
	高尿酸血症 7万円 × 15年 → 105万円					
	心臓 心筋梗塞 手術400万円(繰り返す人が多いです)					
眼 網膜症 100万~200万円						
腎臓 人工透析 500万円×5年=2500万円						
下肢切断 左 100万円						
下肢切断 右 100万円						

25年間の医療費合計 約4,000万円

初期段階で治療をしていないと重度の病気になり、取り返しのつかないことになります。

自分のからだを知るために健診を受けましょう

糖尿病の自覚症状と言うと、のどが渇く、尿が泡立つ、体重が減少するなどがよく知られていますが、これらの症状は糖尿病が悪化してから出てくる症状です。
 物が見えにくい、胃の調子が悪い、足がつる、物忘れなども症状の一つです。しかし、これらの症状は見逃されることが多く、糖尿病の3人に1人は自分が糖尿病だと気付いていないと言われています。自覚症状がなくても、健診を受けることで血糖値やHbA1cなどの健診結果を通して、自分のからだの状況を知ることが必要です。早い段階で健康づくりに取り組むことで、医療費は抑えられますし、何より健康で豊かな生活を送ることができます。健診を受けて自分のからだの状況を知りましょう。

子どもの糖尿病も増えています

子どもの糖尿病と言えば、生まれつきインスリンを作る機能に問題がある場合が多かったのですが、最近は食事などの生活習慣が原因で糖尿病になる子どもが増えています。年齢に関係なく、糖尿病予防に取り組む必要性があります。

世界糖尿病デーをきっかけに、ご家族で糖尿病について考えてみましょう。

11月14日は世界糖尿病デー

毎年11月14日は「世界糖尿病デー」です。世界糖尿病デーは、全世界で増大している糖尿病の脅威に対する関心の高まりに応じて、国際糖尿病連合および世界保健機関により制定され、2007年に正式な国連デーになりました。
 この日は、万里の長城、エッフェル塔、東京タワーなど世界の有名建造物が世界糖尿病デーのシンボルカラーであるブルーにライトアップされ、熊本城もブルーに染められます。ブルーにライトアップされた熊本城を見て糖尿病について考えてみましょう。

この日は、万里の長城、エッフェル塔、東京タワーなど世界の有名建造物が世界糖尿病デーのシンボルカラーであるブルーにライトアップされ、熊本城もブルーに染められます。ブルーにライトアップされた熊本城を見て糖尿病について考えてみましょう。

糖尿病とは

糖尿病治療ガイドによると、糖尿病とはインスリン作用不足による慢性の高血糖状態を主徴とする代謝症候群のことです。
 簡単に言うと、食べたり飲んだりしてブドウ糖が体に入ってくると、インスリンというホルモンが分泌されて、血液中のブドウ糖の量(血糖値)を下げます。そのインスリン

が出ていないか、出ているけれども働きが悪くなって血糖値が高い状態が続いている状態です。
 また、血糖値が高い状態が続くと失明したり、腎臓が悪くなって人工透析が必要になったりと、合併症が次々に起こってきます。

なぜ今糖尿病について世界で取り組むのか？

世界の成人人口の5~6%が糖尿病を抱えており、その数は増加しています。糖尿病に関連する病が原因で年間380万人以上が死亡していると言われており、これは世界のどこ

かで10秒に1人の命が奪われている計算になります。重篤な合併症により、取り返しのつかない状態にならないよう、世界で糖尿病対策が進められています。

■あなたは糖尿病ではありませんか!?

診断には血液検査が必要です。

自分の健診結果を
みてみましょう

